

1993・9・28 Vol.2

秋号

編集・発行
東京都新宿区環境部
リサイクル推進課
〒160 新宿区歌舞伎町1-4-1
TEL 3209-1111代
年4回(6月、9月、12月、3月)発行

ごみ

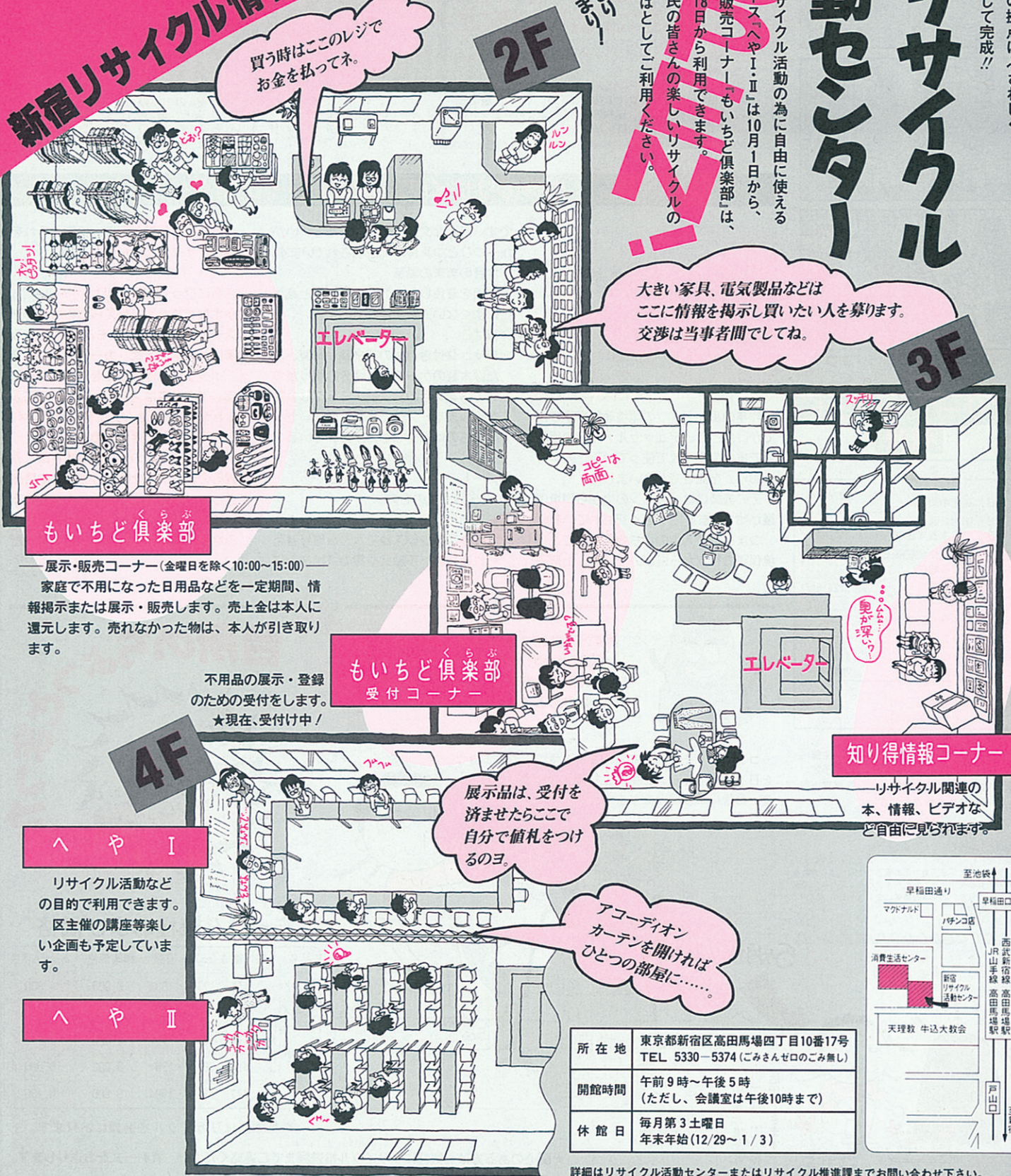
新宿リサイクル情報紙

リサイクル活動の拠点にふさわしく
古い建物を再利用して完成!!

新宿リサイクル 活動センター

リサイクル活動の為に自由に使える
スペース「へやI・II」は10月1日から、
展示販売コーナー「もいちど倶楽部」は、
10月18日から利用できます。
区民の皆さんの楽しいリサイクルの
ひろばとしてご利用ください。

大きい家具、電気製品などは
ここに情報を掲示し買いたい人を募ります。
交渉は当事者間でしてね。



もいちど倶楽部

— 展示・販売コーナー (金曜日を除く10:00~15:00) —
家庭で不用になった日用品などを一定期間、情報掲示または展示・販売します。売上金は本人に還元します。売れなかった物は、本人が引き取ります。

もいちど倶楽部 受付コーナー

不用品の展示・登録のための受付をします。
★現在、受付中!

知り得情報コーナー

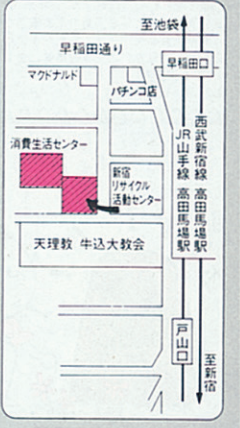
リサイクル関連の本、情報、ビデオなど自由に閲覧できます。

へやI

リサイクル活動などの目的で利用できます。
区主催の講座等楽しい企画も予定しています。

へやII

所在地	東京都新宿区高田馬場四丁目10番17号 TEL 5330-5374 (ごみさんゼロのごみ無し)
開館時間	午前9時~午後5時 (ただし、会議室は午後10時まで)
休館日	毎月第3土曜日 年末年始(12/29~1/3)



詳細はリサイクル活動センターまたはリサイクル推進課までお問い合わせ下さい。

「ごみ」を「宝」に変える「リサイクル」の推進が、市民生活の向上に大きく貢献している。この「ごみ」を「宝」に変える「リサイクル」の推進が、市民生活の向上に大きく貢献している。

「ごみ」を「宝」に変える「リサイクル」の推進が、市民生活の向上に大きく貢献している。この「ごみ」を「宝」に変える「リサイクル」の推進が、市民生活の向上に大きく貢献している。

論奏

リサイクル推進課が発足して一年半余り、リサイクルに関する行政への要望は、ひきも切らない。それらは、住民としてリサイクル活動をしようとする場合当然の要望であらう。行政としてもそれらの事柄に全て応えられれば、リサイクル活動が飛躍的な前進をとげることは、自明である。しかし残念ながら現在の日本の経済情勢のもとでのリサイクル活動は多くの経費がかかり、それを行政が担うということは税金で負担するということである。果たしてその負担は、行政即ち税金のみで負担されるべきものなのだろうか。様々な使い捨て商品は確かにそれを使う人の生活を便利で楽なものにし、それを生産、販売することにより利益を得ている企業が存在している。一方でごみや環境の問題を自覚するなかでそれらの製品

をあえて作らない使わない努力をしている企業や人々もふえてきている。とすれば、それら後始末が税金というかたちで作らない使わない企業や人もふくめて一律に負担せられるのは釈然としない。後始末を行政が税金で担えばいい。とばかりいっていい。しかし永年のその結果が現在のごみ問題であり環境問題である。無自覚にその後始末を応分に出す企業や住民に多くのごみをだしていきたくとも重要であらう。一部の人の作りっぱなし、使いっぱなし、後始末だけはみんなという構図では永遠にいたちごっこである。多少の時間があってもそれぞれの社会的責任を明らかにし正しいリサイクルのシステムを作っていくべきではないだろうか。

速報!!小宮悦子氏来る!

ニュースキャスターとしておなじみの小宮悦子さんを講師にお招きして講演会を開催します。是非ご参加ください。

日時: 12月4日(土) 14:00~
場所: 牛込草子市民ホール(草子町15番地)
演題: 『地球は今……環境とリサイクルを考える』
入場料: 無料
ご来場の方には記念品を差し上げます。(先着392名様)
※詳細はリサイクル推進課までお問い合わせ下さい。

リサイクル推進のための 有力情報大募集

「すてないで」編集部では、あなたをご存知のリサイクル情報を大募集しています。例えば
 「私は要らなくなった△△をこんなふうに使っている」
 「※※町にはこんなリサイクル商品を売っている店がある」
 「○×町△番地の□□さんは、地域の資源回収にこんなに貢献している」
 「私の家の近所のスーパー○×では、牛乳パックやトレーを回収している」
 「うちの店ではゴミ減らしのこんな工夫をしている」etc……
 生活に活かせるリサイクル情報をお寄せください。編集部が有力と認めた情報には、豪華(?)リサイクル文具セットを差し上げます。皆さんの投稿をお待ちしています。

世界のリサイクル事情—ドイツ編—その2

ドイツの学校教育

松田美夜子
(リサイクル研究者)

昨年夏、ドイツの環境政策を学びにでかけたとき、デュッセルドルフの環境部で市内の小学校で使っている「入学のしおり」を見せてもらいました。その表紙には「カバンの中から環境保護が始まります」と大きく記されています。つまり、新入生の持ち物について、環境保護の視点から選び方を注意した冊子

です。どんな文具を用意したらいいかが一つひとつ具体的に説明されています。

- ①木目のままの鉛筆
表面を着色したものは、なめると身体によくない塗料を使っています。
- ②筆ばこ
チャック付きのもので皮製か布製、または木製のケース型。余分の飾りがついていないもの。プラスチックは公害を出します。スチール製もダメ。セットのものはムダなものが付いているのでダメ。
- ③ノート
100%再生紙のもの。
- ④鉛筆削り
木製かステンレス製で、刃が取り替えられるもの。手動式や電動式はごみに

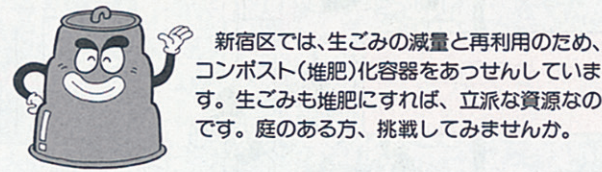
なるとき処理が困難。鉛筆もそれを使うとすぐ短くなります。

さらにびっくりしたのは⑤ボールペン。軸が木製で芯が取り替えられるもの。プラスチック製のものももちろんダメ。⑥万年筆は、スポイト式。カートリッジはダメ。インクびんは大びんを使うと長く使える。⑦色鉛筆はスチールのケースに入ったセットのものはムダが多いのでダメ。買いかえ補充ができるもの。

何がごみになるのか、どうすればごみは減るのか。小さな頃から身近な学用品を通して、環境保護とものを大切にすることを学んでいくドイツの子どもたち。みなさんの持ちものと比べてみてください。

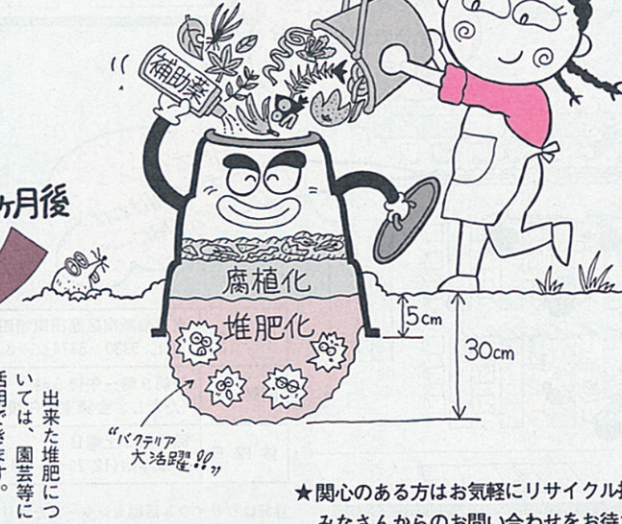
台所のちよつとまいった

生ごみ変身させるの巻



新宿区では、生ごみの減量と再利用のため、コンポスト(堆肥)化容器をあっせんしています。生ごみも堆肥にすれば、立派な資源なのです。庭のある方、挑戦してみませんか。

コンポスト化容器に家庭から出る生ごみや庭ごみなどを日々投入すると、土中微生物の働きにより3~6ヵ月後には堆肥となります。



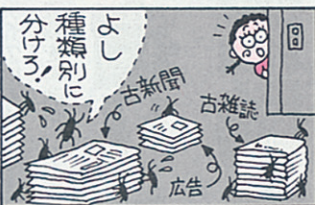
あっせん機種および価格

品名	底×高さ(cm)・容量	標準価格	あっせん価格
コンボ	φ56 × 73 ・ 100ℓ	8,000	5,800
エース	φ65 × 69 ・ 120ℓ	11,000	6,800
コンボスター	縦45×横45×69 ・ 70ℓ	7,600	5,800
	φ60 × 66 ・ 130ℓ	8,000	6,000
	φ72 × 71 ・ 190ℓ	9,500	6,180

※見本品はリサイクル推進課にあります。

★関心のある方はお気軽にリサイクル推進課までご連絡ください。資料一式をお送りします。みなさんからのお問い合わせをお待ちしています。

愛のロジ劇場



フリーマーケット情報

月日	場所	問い合わせ先
10月3日	新宿中央公園	3226-6471
☆9日	明治公園	5228-3300
☆10日	(日本青年館隣)	
○10日	東急文化会館屋上	3226-6471
○11日	(渋谷駅前)	
○17日	都庁前広場	3226-6471
○30日	中野駅北口公園	3226-6471
	(中野サンプラザ隣)	
○31日	東急文化会館屋上	3226-6471
※31日	落合中央公園	3209-1111
	(上落合1-2)	内線4361-4
11月		
☆6日	明治公園	5228-3300
☆7日	(日本青年館隣)	

○印は、リサイクル運動市民の会主催
 ☆印は、日本リサイクル運動市民の会主催
 ※印は、新宿区と地域団体との共催を予定
 変更になる場合がありますので、詳細等上記お問い合わせ先にお尋ねください。

編集後記

お待たせいたしました。第2号です。創刊号クイズには沢山のご応募をいただきありがとうございます。応募者多数のため厳正な抽選により50名様に豪華(?)賞品を送らせていただきました。また沢山の励ましやご意見をいただき編集部はますますハッピーです。今後とも「スマイラスミスマズズズイット……」おねがいします。



6ヵ月後
出来た堆肥については、園芸等に活用できます。

「バクテリア大活躍!!」